

緊急時の対応

いつ、どこで起こるか分からない災害に対しては、日頃からの準備が大切です。災害時でも慌てずに行動できるようにしておきましょう。

日頃の準備

大地震の発生を防ぐことはできなくても、適切な準備を行うことで被害を軽減することができます。どんな備えが必要か考えておきましょう。

- 避難場所の確認(学校付近および自宅周辺等)
- 家族との連絡方法および待合せ場所の確認
- 災害伝言サービスの確認と登録(メール宛先等の事前登録が必要)
- 帰宅ルートおよび所要時間の確認(災害時徒歩 約2.5km/h)
- 緊急時メモの作成・記入
- 具体的な情報収集手段および緊急避難場所等の確認(学校および通学途中)
- 転倒防止対策や緊急時アイテムの確認
- 学校および友人等への連絡方法の確認およびリスト整備

緊急避難アイテム

日頃から準備・携帯しておく便利な物

- | | |
|--|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 現金(小銭も) | <input type="checkbox"/> 学生証(免許証なども) |
| <input type="checkbox"/> マイナ保険証もしくは資格確認書 | <input type="checkbox"/> アドレス帳 |
| <input type="checkbox"/> タオル・ぼんそうこう・包帯 | (家族、友人の連絡先を記入) |
| <input type="checkbox"/> 手回し充電ラジオ・ライト | <input type="checkbox"/> 雨具(カッパなど) |
| <input type="checkbox"/> ティッシュ・ウェットティッシュ | <input type="checkbox"/> 携帯充電用USBケーブル |
| <input type="checkbox"/> チョコレート・あめなど | <input type="checkbox"/> ポリエチレン製ごみ袋 |
| | <input type="checkbox"/> 油性マジックペン |

その他非常時に必要なアイテム

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 貯金通帳 | <input type="checkbox"/> 印鑑 |
| <input type="checkbox"/> 常備薬とその処方箋 | <input type="checkbox"/> 上着・下着・靴下 |
| <input type="checkbox"/> 運動靴 | <input type="checkbox"/> リュック |
| <input type="checkbox"/> 卓上コンロ | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 |
| <input type="checkbox"/> ひも・ロープ | <input type="checkbox"/> ろうそく |
| <input type="checkbox"/> 予備電池 | <input type="checkbox"/> 缶切り・栓抜き |
| <input type="checkbox"/> スリッパ | <input type="checkbox"/> 洗面用具 |
| <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ | <input type="checkbox"/> 非常用食料・水 |

memo

大学への連絡方法

落ち着いたら大学へ安否を知らせる

- 大地震が発生した場合、本学は学生の安否確認を行います。
- 地震発生後、大学からメールが送信されますので、メール内容の指示に従い、返信してください。
- 送信するアドレスは、学生ポータルサイト(C plus等)へ登録されているアドレスとなります。携帯電話でメールを確認できるようにしておいてください。
- またメールのフィルタリング機能を利用している場合は「~@g.chuo-u.ac.jp」からのメールを受信できるようにしておいてください。
- 万が一の際、大学からの重要な情報が受信できるよう、登録アドレスは有効なものに必ず変更してください。



八ガキによる報告 ※上記による連絡ができない場合

大学住所：〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1
中央大学 安否確認係 宛
※電話での報告は極力控えてください。

報告事項

大学へ報告すべき事項は以下の通りです。

- ①氏名
- ②学籍番号・所属学部
- ③携帯電話番号
- ④本人・家族の状況
- ⑤自宅や避難場所付近の状況
- ⑥避難している場合は避難先の住所、連絡先等
- ⑦その他(困っていることなど)

家族への連絡方法

171 ダイヤル 災害用伝言ダイヤルで安否確認!

伝言を録音する⇒171+1+電話番号(市外局番から)
伝言を再生する⇒171+2+電話番号(市外局番から)
メッセージ登録内容：音声

※災害用伝言ダイヤルは震度4以上の地震が発生した場合に利用できるようになります。

知っておこう 伝言ダイヤルのしくみ

- ◎ 被災地(名古屋)のAさんが伝言を録音し、福岡のBさんが伝言を再生する例。
- ◎ 災害により混雑する名古屋～福岡の回線を利用しません。

Aさん(被災地:名古屋)

各電話機から、災害伝言ダイヤルで
自宅の電話番号をキーに、伝言を録音。
例) 171+1+052+123+4567
(Aさん自宅電話番号)

Bさん(福岡)

被災者Aさん宅の電話番号を
キーに、伝言を再生する。
例) 171+2+052+123+4567
(Aさん自宅電話番号)

携帯電話 事前の登録が必要ですよ!

携帯各社「災害用伝言板」※事前にテストしてください。

大規模災害時に携帯電話から安否確認(安否情報の登録)ができる災害用伝言板サービス。あらかじめ指定したご家族や知人に対して、災害用伝言版に登録されたことをメールでお知らせする機能も提供される。また、インターネットからも安否情報の確認が可能。



NTTドコモ



au/KDDI



ソフトバンク



ワイモバイル

避難

キャンパス滞在中に災害その他緊急の事態が発生した場合は、次のように行動してください。

(1)緊急事態が発生した場合は、すべて大学から緊急放送でお知らせしますので、指示に従って冷静に行動してください。

(2)大地震の際の行動マニュアル

I. 大地震が起きた場合の基本行動

- 地震の主震動は1分～2分程度であるため、落ち着いて行動する。
- 余震があることも頭に入れておく。
- 机の下にもぐる、衣類・持ち物等で頭を覆う等、落下物（黒板・モニター・蛍光灯等）や転倒物から身を守る。
- ドア付近の人はドアを開け、出口を確保する。

II. 避難する場合の基本行動

【屋内から屋外への避難】

- ① 出口に殺到しないで落ち着いて避難する。
- ② 身体障害者や負傷者がいる場合は、周りの学生とサポートをする。
- ③ 停電した場合、誘導灯を目印に避難する。
- ④ 避難には、必ず階段を使用する（エレベーターは絶対に使用しない）。
- ⑤ ドアを開けたまま避難する。ただし、火災が発生し消火不能の場合はドアを閉めて避難する。
- ⑥ 煙が発生したら煙を吸わないよう、ハンカチ等を口と鼻にあて、姿勢を低くして避難する。

【屋外から避難場所への避難】

- ① 衣類や持ち物を頭を覆い、落下物から身を守る。
- ② 窓ガラス・外壁・看板等の落下物に注意する。
- ③ 地面の亀裂や陥没、隆起に注意する。

【多摩キャンパス】

避難場所	号館・棟
桜広場	1号館、2号館、中央図書館、8号館～11号館、ヒルトップ78
ラグビー場	3号館、4号館、第1体育館、サークル棟別棟(1)、弓道場、馬場、グリーンテラス、Cスクエア、グローバル館、FOREST GATEWAY CHUO、国際教育寮
陸上競技場	5～7号館、第2体育館、サークル棟別棟(2)(3)、炎の塔

【後樂園キャンパス】

一時避難場所	6号館北側広場
--------	---------

【市ヶ谷田町キャンパス】

一時集合場所	1階エントランスホール
--------	-------------

【茗荷谷キャンパス】

一時待機場所	地震等の災害により停電が発生し、帰宅困難なケース 1階：エントランスホール・茗荷谷スチューデントハブ B1階：学生食堂・購買 ※緊急放送でお知らせしますので、その指示に従ってください。
--------	---

P.38～42、P.46のキャンパス地図とあわせて確認してください。